生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	**体外衝撃波療法による上下肢痙縮軽減効果**		
1. 研究の目的と方法	体外衝撃波療法が脳卒中後患者の痙縮を改善するか否かを診療録から調査する。上下肢痙縮（つっぱり）を有する患者さんへの体外衝撃波治療による痙縮軽減効果を明らかにする。体外衝撃波療法は、筋緊張に対するマッサージ効果、疼痛緩和効果があり、これに対してはわが国で認可され、難治性足底腱膜炎が保険適応の疾患となりますが、今回は痙縮に対して適応外使用を行っています。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2027 年 3 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	脳卒中後で上下肢の麻痺があり、上下肢の筋緊張とつっぱり（痙縮）に対して附属第三病院、葛飾医療センター、附属柏病院にて治療を行った外来患者さんで、2020 年 4 月 1 日～2022 年 7 月 31 日の間に診療目的で体外衝撃波治療機器による治療を受けた方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1)試料の種類	試料は使用しません。	
	(2)試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3)情報の種類	診療録に記載されている関節可動域、痙縮の程度、上肢機能の程度、疼痛の程度、外観上の治療部位の腫脹と紅斑等の有無に関する情報、患者基本情報：年齢、性別、疾患情報：疾患名、発症年月日、併用されている治療内容	
	(4)情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1)当施設の研究責任者または研究代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座
		氏名	長谷川雄紀
	(2)当施設の長	東京慈恵会医科大学　学長　松藤千弥	
	(3)当施設の試料・情報の管理責任者	東京慈恵会医科大学附属第三病院　リハビリテーション科 管理責任者：知野　俊文（ちの　としふみ） 電話：03-3480-1151　（内線：3341）	
	(4)共同で研究を実施する施設とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	

6.試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 情報の利用開始予定日：2022 年 11 月頃～
【問い合わせ先】	東京慈恵会医科大学附属柏病院　リハビリテーション科 研究責任者：長谷川　雄紀（はせがわ　ゆうき） 電話：04-7164-1111　（内線：2458）

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。